

原稿募集中
必ず掲載しませ

街かど

街かどはみなさんのページです。今までみなさんからの投稿は全部掲載してきました。しかし、みなさんの投稿がないとせつかつくので、

一源三流とは

谷内田 正一（六十歳 寺地中）

だいぶ前のことであるが、一源三流という言葉聞いたこと

がある。人間にたとえれば一体から流れ出る三つの物である。

それは血であり、汗であり、涙である。これを三流という。

まず、第一の血を流すということであるが、今日の平和国家

日本のために多くの同胞の血が流されたことを忘れてはならないと思う。

第二の汗を流すということは社会で人それぞれが幸福を願

ペースもむだになつてしまひます。募集するものは、短歌、俳句、写真、イラスト、川柳、詩、絵画などの作品や町に対するご意見（テーマ、内容は自由）です。また、グループの登壇や「わたしとスポーツ」もよろしくお願ひします。なお、匿名希望者は匿名としませんが、編集部には氏名をお知らせください。

投稿、連絡は 黒埼町大野二八四三 黒埼町役場企画調整課 ☎七三二〇一です。

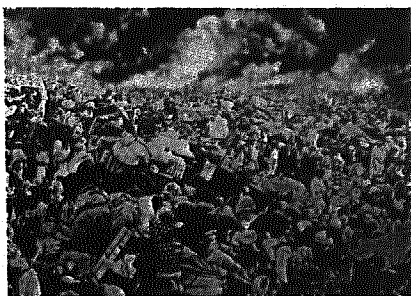
帝都を救え(一) 命からがら逃げた

黒埼村議員視察団

大正十三年（一九二二）九月一日、午前十一時五十八分、東京はマグニチュード七・九の大地震に襲われ、壊滅的な打撃を受けた。

この東京大地震の第一報が黒埼村役場に届いたのは、一日の夕方になってからである。黒埼の人々も震度四ぐらいの大きな地震を感じて大騒ぎしていたがどこが震源地なのか皆目知ることができずにいた。

当時は新聞の「号外」以外にこのような突発的ニュースを知るすべがなかった。ところが、号外を発行する新聞社も類焼してしまっていた。また、電話も使用され始めていたが、都内が全滅状態のため不通となっていた。



その電報が届いたのは人々がお昼の地震について色々と話合っていた矢先である。内容は「東京に大地震が起り、地震とともに発生した火が折からの

づかつて情報を得ようとしたがどうすることもできなかった。一日、二日と過ぎ去った。依然として消息はつかぬ。そのうちに「数十万人が死んだ」とか「東京は全滅した」とかといううわさが流れ始めた。とにかく正確な情報がかめなかつた。

では、上京中の議員団はいつたいどうなつていたのかというと、詳しくは調べられなかつたが、彼らは彼らで大変だつたらしい。

東京の火の海をようやく脱出したが、列車は走っていない。歩いて歩いてやっと埼玉県の川口までたどりつき、上越線に乗ったとき初めて「助かった」と実感わいたという。

こうして地震と業火に見舞われた視察旅行から村に帰り着いたのは地震発生から六日後の九月六日であった。

村人たちは帰村した議員から東京の惨状を聞いた。帝都の大半は灰燼と化したる所に焼死者の遺体……「あちこちの家から火が吹きだし、川に逃げ出そうとしても、川の水も蒸発してしまつていた」生々しい東京の状態を聞いた黒埼の若者たちの間に帝都救援の気運が起つてきた。（以下次号）

黒埼町の昔



文・絵 宮田栄門

その九

川の辺の地に這い広がる野の葛は夕風わたり花をのぞかす
夏の夜半ふと目覚めれば初鳴きの声たどくし筆の鈴虫
うとうとと風鈴の音にさそわれて
三八の大野の市や生菱買ふ
枝先の花の重たき萩の垣
その穂揺れて川波ひらひらと



小出美喜子

金内 セツ

海津みよき

横木 義男

朝の市甘きみその香を荷漬
空高く飛ばしてなごむ竹トシホ

佐藤 キン

B クラス 1位 ニューナインズ 2位 ブラックライン 3位 三国メンテナス、コカコーラ営業所
C クラス 1位 寺地団地 2位 ボンバーズ 3位 黒埼車体、クラブサクセス

短歌

短歌会

逝く夏を惜しむ間もなく日の過ぎてはや十五夜の月見となりぬ
宮田 ミイ

人形の着せ替え程の産着乾す隣家に女兒の生まれしと聞く
阿部 浄子

平凡な郷土なる木場の御神体粟島行きし運命の恵
柏 直樹地

味自慢して梨売りが老われに一つまけゆく敬老の日に
平松清次郎

病院の裏庭通り何十べん往き来したるや朝に夕に
酒井 庄平

亡き夫の保存しおりし古竹を畑に燃しつづ後めたきあり
泉井 ヨ子

俳句

川の辺の地に這い広がる野の葛は夕風わたり花をのぞかす
夏の夜半ふと目覚めれば初鳴きの声たどくし筆の鈴虫
うとうとと風鈴の音にさそわれて
三八の大野の市や生菱買ふ
枝先の花の重たき萩の垣
その穂揺れて川波ひらひらと

横木 義男

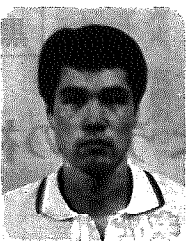
楽しく有意義なバドミントン

山崎 芳一（二十七歳 板井）

しかし、試合となるとそうではありません。苦しいものです。運動量は「ラグビーのフォワードに匹敵する」と言われています。

試合は風が入らないように真夏の日中でも窓を締め切っています。互いの実力が伯仲している一試合一時間もかかります。

このように手軽に楽しめる反面、激しさもあるスポーツがバドミントンです。わたしは八年前会社で初めてラケットを握りました。



わたしは黒埼町バドミントンクラブと会社のクラブの二つに所属しています。このスポーツはラケットと羽根があればだれにでもできても楽しいものです。

ただきました。こちらにも会社のクラブとは違った魅力があります。ここでは色々な仕事を持つた多くの人と知り合うことができました。とても良かったと思

町クラブでは練習の他に色々な行事もありとても有意義です。昨年から選手権大会とは別に、楽しみながら練習している愛好者が気軽に参加できる社会人バドミントンリーグ戦も始まりました。これには黒埼も三チームに分れて全員が参加しました。

昭和57年度野球連盟秋季大会成績

A クラス 1位 太平興業 2位 アストロ 3位 大洋クラブ、黒埼町役場